

茨協ニュース

第94号

平成28年3月1日

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

社員は、常に主役となれ。



CONTENTS

目次

CONTENTS

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ■ 平成28年 新春賀詞交歓会開催 …………… 2 | ■ 理事会だより…………… 13 |
| ■ 平成27年度 会員相互のコミュニケーション促進事業 … 7 | ■ 各委員会だより…………… 13 |
| ■ 平成27年度 ビルクリーニング技能検定受検準備講習会 … 9 | ■ 会員紹介ページ…………… 14 |
| ■ 平成27年度 高齢者活躍人材育成事業 (清掃業務技能講習) … 10 | ■ 自由投稿欄「小学生清掃活動トレーニング事業に参加して」… 16 |
| ■ 平成27年 労働災害事例 …………… 11 | ■ 第21回 世界ビルメンテナンス大会のご案内 …… 17 |
| ■ 平成28年度 主要事業・行事の開催予定 …………… 12 | ■ 編集後記…………… 18 |
| ■ 会員告知板…………… 12 | |

平成28年

新春賀詞交歓会開催

去る1月22日(金)、茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、水戸プラザホテルにて盛大に開催されました。

ご来賓に、茨城県副知事 山口やちゑ様をはじめ、自由民主党茨城県支部連合会 組織本部長 森田悦男様、茨城県保健福祉部 次長 近藤慶一様・同技監兼生活衛生課長 鈴木陸夫様、茨城労働局労働基準部長 松田信太郎様、業界からは(公社)東京ビルメンテナンス協会会長 佐々木浩二様、(一社)茨城県警備業協会会長 島村宏様、(一社)茨城県貯水槽維持管理協会会長 稲葉貞幸様、茨城県管工事業協同組合連合会会長 石田賢司様、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会総務課長 石津嘉一様、(公財)茨城県生活衛生営業指導センター専務理事 橋本邦夫様など、多数のご臨席を賜りました。

主催者を代表して当協会の大山進会長より、「社員は、常に主役となれ。」との力強い新年の挨拶があり、新しい年を迎えるにはふさわしい和やかな雰囲気の中、ご来賓並びに会員の皆様と新年のご挨拶や意見交換等を行いながら、大変活発な交流が行われ、懇親を深める事ができました。

お忙しい時期にも関わらず、沢山の方にご出席賜りまして心より感謝申し上げます。

最後になりますが、各社の益々の発展を祈念しまして新春賀詞交歓会の報告とさせていただきます。

総務委員会 委員長 橋本雄太



役員によるお出迎え

会長あいさつ

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
会長 大山 進



改めまして、明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、決意を新たに、新年を迎えられたことと存じます。

本日は、ご多忙中にもかかわらず、茨城県副知事 山口やちゑ様、自民党県連 組織本部長 森田悦男様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、恒例の賀詞交歓会が開催できますことを、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、例年のないほど、多事多端な一年であったような気がしております。

中でも、9月の「関東・東北豪雨」による常総市の大水害には、強い衝撃を受けました。

テレビに映し出された住宅地を襲う濁流の凄まじさは、今でも頭から離れません。

常総市が一刻も早く復興し、市民に平穏な生活が戻りますよう、心から願うところでございます。

近年、世界各地で、異常気象による台風、洪水、干ばつ等の自然災害が頻発し、地球温暖化との関連性が指摘をされている折から、昨年の記録的な猛暑や、鬼怒川の堤防を決壊させた豪雨も、素人ながら、地球温暖化の影響が懸念され、今まで不安に感じていたことが、現実になったような気がしてなりません。

この地球温暖化に対する取組みとしまして、全国ビルメンテナンス協会では、一昨年から環境省の委託を受け、空調設備から排出される二酸化炭素の削減を試験的に実施する「エコチューニングビジネスモデル確立事業」を行っております。

その結果、事業を行った全国194の建築物で、7ヶ月間に二酸化炭素総排出量の7.5%削減と、光熱水費の約4億円削減という大きな成果をあげました。

今年の3月までに、排出削減に取り組む建物の「認定制度」と、担当する技術者の「資格制度」が整備され、4月から、二酸化炭素の排出削減の事業が、ビジネスとして本格的にスタートします。

この事業は、ビルメンテナンス業のサービスに新しい方向性を示すものであり、会員の積極的な参加を、大いに期待しております。

次に、官公庁の入札・契約の制度に関する問題ですが、昨年の6月に大きな動きがありました。

厚生労働省健康局長から発出された「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン」でございます。

今後、このガイドラインによりまして、公共建築物の維持管理の業務に関する入札や契約が、「サービスの品質」を重視するものとなり、業務の予定価格や、競争参加の資格が適正に設定され、ダンピング受注が排除されずことを、心から願うものです。

当然のことながら、我々も、公共工事を受注するためには、価格だけでなくサービスの品質でも競争に勝たなければならないことを、今まで以上に自覚しなければなりません。

ビルメンテナンス業を取り巻く環境は、常に変化をしております。

先ほど申し上げた地球温暖化対策を含め、多様化するニーズに的確に対応していくことは、業界の使命でもあります。

一方、労働集約型のビルメンテナンス業は、社員一人々の資質が、直接、提供するサービスの品質に影響をいたします。

そこで、今年は、「社員は、常に主役となれ。」これを目標として掲げたいと思います。

つまり、自分が主役という自覚が大切であり、いつも指示待ちの消極的な態度では、サービスの向上は図れません。

昨年の賀詞交歓会では、社員の奮起を促すために、今の自分を超越するまで知識と技術に磨きをかけることを、目標として掲げました。

今年は、今までの努力の成果を生かす意味でも、社員は常に主役となって、蓄えてきた能力を存分に発揮しますことを、大いに期待しております。

5月には、つくば市で「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」が開催されます。

会場等の環境衛生の管理に関しましては、まさに我が国のビルメンテナンス業の真価が問われます。

関係の企業におきましては、最高のサービスによって、この機会に、技術力の高さを世界にアピールしてください。

今年も、予期しない様々な問題に直面することになると思いますが、困難に負けることなく、常にサービスの向上をめざすことで、会員企業が更なる飛躍を遂げますことを、大いに期待するところでございます。

結びに、本日ご出席の皆様方のご多幸と、会員企業の益々のご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

2016年(平成28年)1月29日 金曜日

茨 城 新 戸 門



■サービス向上を県ビルメンテナンス協会(大山進会長)は22日、水戸市内のホテルで賀詞交歓会を開き、山口やちる副知事ら来賓と会員約100人が出席した。大山会長は「業界を取り巻く環境は常に変化している。社員一人一人が主役だ」という意識を持ってサービスの品質向上に努めてほしい」と述べた。写真

来賓ご祝辞

茨城県副知事 山口 やちゑ 様



本日は、茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、大変盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

大山会長さんをはじめ、会員の皆様方には、日頃より、建築物・設備の適正な管理や保安警備など、利用者が安全で快適に過ごせる空間づくりにご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます次第です。

昨年は地方経済が厳しい中、関東・東北豪雨が発生するなど大変な一年でありました。

この度の災害に際し、協会の会員の皆様におかれましては、被災された会員社員の家屋の清掃や被災者支援のための募金などを行われたと伺っており、深く敬意を表する次第です。

県では、昨年末から住家被災者への義援金配分を開始したところで、引き続き、国や市と連携しながら、被災地の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

一方、本県では、昨年内閣府が公表した平成24年度の1人当たり県民所得が過去最高の全国第4位になりますとともに、上期の工場立地件数や面積が全国第1位となる、あるいは、今年5月のG7茨城・つくば科学技術大臣会合の開催が決定されるなど、明るい話題もありました。

本年は、人口が減少する中であっても本県を着実に発展させていくための重要な年であり、県では、災害に強い県土づくりとあわせ、昨年策定したまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地方創生に全力を注いでまいります。

また、国会では、今月20日に一億総活躍

社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等に係る経費を含む総額約3兆3,000億円の補正予算が成立したところであり、引き続き国とも連携しながら取り組んでまいります。

とりわけ、県民の皆様が安全で快適に生活できる環境づくりを進めていくうえで、建築物の環境衛生管理をはじめ、電気通信や空調設備、防災などの保安警備といった幅広いサービスを提供されている皆様の役割は非常に重要でございます。

さらに、近年は、地球温暖化防止対策をはじめとした環境問題への対応や、節電などの省エネルギー対策など、新たなニーズを受けて、皆様方には、より専門的な知識と技術の習得が求められていることと存じます。

こうした中、協会の皆様が、衛生的で快適な生活環境の提供に向けて、技術向上のため各種技術研修会や教育・訓練などを通じた人材育成に積極的に取り組まれておりますことは、大変心強い限りです。

また、県の教育委員会とも連携して、小学生を対象とした「清掃活動トレーニング事業」を実施いただきますとともに、県シルバー人材センター連合会が実施する高齢者のための技能講習会「シニアワークプログラム事業」の講師を務められるなど、積極的に取り組まれておりますことは、大変有り難く感じている次第です。

県では、引き続き、協会の皆様との情報交換等に努めながら、建築物の衛生環境の維持向上等による安全・快適な住環境の提供と省エネルギー社会の実現に取り組んでまいりますので、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県ビルメンテナンス協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

来賓ご祝辞

茨城労働局労働基準部長

松田 信太郎 様



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の会長様はじめ会員の皆様におかれましては、平素より

労働災害防止や最低賃金制度の周知など各種の労働行政施策の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年における茨城労働局管内の休業4日以上労働災害（全産業における死亡災害を含む休業4日以上死傷災害の発生件数。以下「労働災害」という。）は、12月末時点で2,624人ということで、前年同期の2,645人に比べて21人、率にして0.8%の減少となっております。現時点では、かろうじて前年同期より少ない数字で推移しており、このままでいけば、2年連続で労働災害が増加するという事態は何とか避けられるのではないかと状況になっております。しかしながら、実際に労働災害の統計が確定するのは、3月末ですので、依然として予断を許さない状況です。

なお、労働災害の発生状況をビルメンテナンス業に限って見た場合は、ここ4年ほど連続で増加しており、昨年は10年ぶりに41人と40人の大台ののってしまいました。このようなことから、今年は是非ともビルメンテナンス業の労働災害の減少年としたい、と考えております。

一方、死亡災害は全産業で33人ということで、こちらは一昨年（平成26年）に比べて7人の減少、率にして17.5%の減少というこ

とになりますが、一昨年の死亡災害は40人と例年に比べて多かったことから、こちらも手放して喜ぶことはできない状況です。

昨年10月に開催された安全衛生大会の挨拶でもお伝えしましたが、昨年は10年ぶりに、茨城県内のビルメンテナンス業において、蜂に刺されたという災害で極めて特殊な事例ではありますが、死亡災害が発生しております。

このようなことから、茨城労働局及び各労働基準監督署では、死亡災害などの重大な事故が多発する年末年始における労働災害防止の徹底を図る目的で、平成27年12月1日から平成28年1月31日を「年末・年始労働災害防止強化運動期間」に設定し、関係者や発注者等への注意喚起、協力要請などとともに、様々な取組を進めているところでありますので、労働災害の積極的な防止についてご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、昨年9月10日に発注した鬼怒川決壊による大規模水害で被災した常総市内の監督署やハローワークも昨年12月14日にハローワークが、21日に監督署がそれぞれ元の庁舎で業務を再開することができました。庁舎の閉鎖中は、常総地区をはじめとした管内事業場の皆様には大変ご不便な思いをさせていただきましたことを改めてお詫び申し上げます。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様、そして本日この賀詞交歓会の会場にお集まりの皆様の今年一年のご健勝とご活躍をご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくようお願い申し上げます。



緊張の開会前



来栖副会長
開会のことば



司会
宮内副会長



ご来賓
森田悦男自民党県連組織本部長



ご来賓
東京ビルメンテナンス協会佐々木会長



橋本理事
閉会のことば



鏡開き



県警備業協会島村会長の
ご発声で乾杯



歓談のひとつ



平成27年度 会員相互のコミュニケーション促進事業

■ 総務委員会

本事業を、11月26日（木）から27日（金）の日程で、「筑波山ホテル青木屋」にて開催しました。

第一日目の研修では、昨年に引き続き、(株)エミーの渡辺満枝先生を講師にお迎えし、業界共通の課題である「クレーム対応」と、誰にも必要な「酒席でのマナー」について学びました。

（一般席と離れた上席の人に酒を注ぐ場合は、必ず上席に置いてある酒を注ぐのがマナーとのこと、目からウロコです。）

研修の後、夕食を共にしての意見交換会に移りましたが、研修の内容などを話題にしながらいかに盛り上がり、相互のコミュニケーションを一層促進することができました。

今回も大盛況のうちに終了することができましたのは、会員の皆様方のご理解とご協力

によって成し得たことであり、心から感謝申し上げます。



大山会長あいさつ



渡辺満枝先生

◇事業の概要

参加者数 46名
参加会員数 23社

(第一日目)

研修会

1 クレーム対応

- (1) 相手に好感を与えるポイント
- (2) 感じの良い丁寧な言い方
- (3) 敬語の作り方
- (4) 名指し人在席の場合
- (5) 名指し人不在の場合
- (6) 二度とクレームを起こさないために

2 宴席でのマナー（和室）

- (1) 宴会席次
- (2) お酒の注ぎ方（ビール、日本酒、ワイン）

意見交換会

(第二日目)

朝食



解散

平成27年度会員相互のコミュニケーション促進事業に参加して

(株)とも系 福田 尚夫

昨年度から開催されました「会員相互のコミュニケーション促進事業」が今年度も11月26・27日(2日間)で開催され、「接客マナーの基本」というテーマについて大勢の参加者(46名)が出席され行われました。

1日目は、研修・親睦会、2日目は朝食後自由解散という日程で始まりました。

昨年も「接客マナーの基本」研修を受けましたが、今回はもう少しバージョンアップした内容の講義で、大変勉強になりました。

私が特に感じたのは、相手に対する好感度が、見た目(55%)、話し方(38%)で決まってしまうということで、第一印象が如何に大切か教えられました。

普段、私の営業活動等において体調がすぐれない時などは、お客様に対して不愉快な思いをさせていないか、今後身だしなみや笑顔の作り方、感じの良い丁寧な言い方などに心がけ行動していきたいと思います。

また、作業員に対しても相手方に不愉快な思いをさせないように指導していきたいと思います。

《相手に好感を与えるポイント》

☆見た目

(55)%

- ・ 表情(笑顔)
- ・ 視線
- ・ あごの角度
- ・ 身だしなみ
(清潔、上品、控えめ)
- ・ 動作・仕草



☆声と話し方

(38)%

- ・ 明るさ
- ・ パワー
- ・ 明確さ
- ・ メリハリ
- ・ 言葉癖

☆話の内容

(7)%

クレーム対応についても、「対応時の心構え」、「対処の仕方」や「相手の心理状態を考える」など、または使ってはいけない言葉、使いたいマジックフレーズなど今後の対応について大変参考になりました。

クレームが発生した時は、最優先に考え、クレームから逃げずに迅速、誠実に対応することにより、最小限に抑える努力をしていきたいと思います。

第2部の親睦会は、大山会長の挨拶

で始まり美味しいお料理、お酒で盛大に行われました。

普段、会員の皆様とは顔を合わせる機会も少なく情報交換などもできないため、このような場を設けて頂き有難うございました。

今回も、研修の講師を務めて頂きました、渡辺満枝先生〔株)エミー代表取締役〕と、協会関係者皆様のおかげで、2日間有意義な時間を過ごすことができ有難うございました。

平成27年度

ビルクリーニング技能検定受検準備講習会

開 催

■ 建物衛生委員会

今年度の「ビルクリーニング技能検定受検準備講習会」を、下記の通り行いました。

- 開催日 12月2日(水)～3日(木) 受講者23名
- 会場 「茨城県職業人材育成センター」 水戸市水府町864
- 講習科目 「床表面洗浄作業」「ガラス面洗浄作業」「カーペットの汚れ取り作業」

受講者の皆様には、上記実技3科目について、まず定められている作業の方法や手順等を受検対策用のDVD画像により学習しました。その後、グループに分かれて項目ごとに各担当の協会講師の指導により2日間熱心に練習を行いました。

受講者の皆様には、大変お疲れ様でした。

試験日は、12月後半から1月に実施されました。受講された皆様全員の合格を心からお祈りいたします。

また、これを励みに日々の作業や業務の中で生かしていただきたいと願っています。建物委員会の委員(講師)一同、皆様の一層のご活躍を心から期待しております。



■ 建物衛生委員会

この技能講習は、今年度、新規に、公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会様から委託を受けて、開始いたしました。

事業の目的は、高齢者が、健康で意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働き続けられるように、バックアップすることです。

受講対象者は、市町村シルバー人材センターに会員登録している人、又は会員登録を希望する人で、臨時的、短期的かつ軽易な清掃の業務を希望する人です。

本講習の実施のために協会講師や指導者を派遣していただいた会員の皆様方に、心から感謝申し上げます。

来年度におきましても継続の予定となっておりますので、変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。



★実施概要

期 間：平成27年10月22日（木）～
平成28年1月27日（水） 延べ18日

会 場 数：9会場（日程 2日間）

受 講 者 数：113人

指 導 実 施：延べ36人（協会講師25人、会員11人）

指 導 の 内 容：心得、安全・衛生、清掃用具類の基本操作、
トイレ・洗面台の清掃など

詳 細：下記のとおり

平成27年度高齢者活躍人材育成事業〔清掃業務技能講習〕実施結果

市町村シルバー人材センター	実施日程	受講者数	参加会員	会員から派遣される指導者の氏名	協会講師氏名	会場名
1 鉾田市	10月22日(木)	10	—	—	藤原 明、塩谷文則	鉾田市シルバー人材センター 会議室
	23日(金)		—	—	同上	
2 石岡市	11月4日(水)	19	常総ビル整美(株)	池田 弘	篠崎嘉勝	グリーンパレス石岡 小会議室
	5日(木)		㈱塚越産業	塚越俊祐	同上	
3 那珂市	11月9日(月)	12	㈱サンアメニティ 茨城支社	照沼幸弘	篠崎嘉勝	那珂市シルバー人材センター 会議室
	10日(火)				塩谷文則	
4 かすみがうら市	11月18日(水)	12	中央管財(株) 茨城・千葉営業所	東 晃弘	篠崎嘉勝	かすみがうら市シルバー人材センター 会議室
	19日(木)				同上	
5 北茨城市	12月8日(火)	15	茨城ビル代行(株)	鹿嶋史子	藤原 明	北茨城市民ふれあいセンター 小ホール A、B
	9日(水)		JR水戸鉄道サービス(株)	草野 隆	塩谷文則	
6 行方市 鹿嶋市	12月14日(月)	13	高橋興業(株)	金井昭彦	塩谷文則	行方市シルバー人材センター 会議室
	15日(火)		㈱裕生 つくば営業所	浅野祐一	同上	
7 結城市	1月7日(木)	12	—	—	塩谷文則、篠崎嘉勝	結城市シルバー人材センター
	8日(金)		—	—	同上	
8 下妻市	1月19日(火)	8	—	—	塩谷文則、篠崎嘉勝	下妻公民館 学習室
	20日(水)		—	—	同上	
9 美浦村	1月26日(火)	12	—	—	藤原 明、塩谷文則	美浦村シルバー人材センター 実習室
	27日(水)		テスコ(株)つくば支店	酒奇喜美枝	塩谷文則	
計		113				

平成27年1月～12月の労働災害事例につきまして、会員各社から報告されたものを参考として掲載いたします。

1. 業務災害

年齢	性別	経験年数	発生日時 作業別	障害模様	程度	発生状況及び原因	
1	70	女	1年2ヶ月	1月9日(金) 11:15 学校内 作業中	打撲	休業なし	落葉収集作業中、1名が坂を下りながら落葉を下方へ集める作業を行い、そのすぐ後方にてもう1名が袋に入れる作業を行っていたところ、前方作業者の熊手の柄の先が額にあたり、受傷した。
2	65	男	3年10ヶ月	2月12日(木) 13:40 工場構内 作業中	切れこすれ	休業なし	全長5mの松の枝を剪定しようと2mの三脚を使用し木に登り、安全帯を枝の先端に掛け作業を開始したが、途中、前方の枝を持ったところ、その枝が折れ、体が横に傾き、体の重みで安全帯が外れ、地面に落下。その際、ヘルメットも外れ、外周を剪定するために設定していたもう1台の三脚の側面に左額と左耳が接触し、出血。左額15針、左耳5針の縫合。
3	44	男	6年4か月	7月13日(月) 14:30 構内 作業中	創傷	休業なし	配管の機密検査後の保温復旧の際に、保温材を仮押さえするために、ビニールテープで巻いていたところ、手が滑り保温板金の切り欠き部に左手薬指があたり、創傷、出血した。
4	42	男	14年9か月	9月24日(木) 10:30 屋上 巡回中	骨折	休業31日以上	施設屋上の設備機器巡回中に鳩に気をとられ、足を踏み外し、鉄骨の架台通路より落下、転倒。左手首を骨折した。

2. 通勤災害

年齢	性別	経験年数	発生日時 作業別	障害模様	程度	発生状況及び原因	
1	64	女	5か月	9月1日(火) 15:40 駅 帰宅途中	捻挫 打撲	休業 4日以上	帰宅途中、電車の乗継の際、電光掲示板の時刻表に気をとられ、下り階段(3段)を踏み外し、転倒。左足の足首、足の甲を捻る。

※ 報告書は、無災害の場合にも、全会員が毎月報告することになっています。

「労働災害発生報告システム」については、**当協会ホームページ**に詳細がありますので、ご利用ください。

労働災害についての正確な情報を把握共有するためにも、毎月の「労働災害発生報告書」の提出について、引き続き、会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。



茨城県ビルメンテナンス協会
協会の概要 業務案内 会員の紹介 行事予定 ビルメンのお仕事 お問い合わせ

確かな技術と信頼 すばらしい快適空間の創造
茨城のオフィス環境をリードする茨城県ビルメンテナンス協会です。

会費は一人ひとりが責任者
みんなで築こうぜ！災害現場
労働災害発生報告書はこう！

続きを読む

労働災害発生報告システム

広報誌「茨協ニュース」第93号発行しました。

カテゴリ：お知らせ | 投稿日：2015年12月16日
12月1日(火)に、広報誌「茨協ニュース」第93号を発行しました。

平成28年度

主要事業・行事の開催予定

担当委員会	事業名等	開催日時	会場
	第14回常任理事会	3月11日(金) 15:00～	協会 会議室
	第4回理事会	3月18日(金) 15:00～	同上
	選挙管理委員会	4月13日(水) 14:00～	同上
	予備監査	5月11日(水) 10:30～	同上
	監査	5月18日(水) 10:30～	同上
	第15回常任理事会	5月18日(水) 13:30～	同上
	第5回理事会	6月10日(金) 10:30～	ホテルレイクビュー水戸
	第42回通常総会	6月10日(金) 13:30～	同上
総務	小学生清掃活動トレーニング事業説明会	4月26日(火) 13:30～	茨城県総合福祉会館
	小学生清掃活動トレーニング事業	6月～10月	対象校 9校
	会員相互のコミュニケーション事業	未定	未定
建物衛生	清掃作業従事者研修指導者講習会 (新規・再講習)	8月26日(金) 9:30～	茨城県総合福祉会館
	ビルクリーニング技能検定受検準備講習会	未定	未定
	清掃業務技能講習	未定	未定
	シニアワークプログラム事業 クリーンスタッフ講習	未定	未定
設備保全	技術者研修会	9月8日(木) 10:00～	茨城県総合福祉会館
労働安全衛生	労働安全衛生大会	未定	茨城県総合福祉会館
広報	茨協ニュースの発行	8月1日、12月1日 3月1日	

(※平成28年2月10日現在)

会 員 告 知 板

事業所の移転 (28年2月22日～)

J R 水戸鉄道サービス(株)

所在地：〒310-0021 水戸市南町1-3-35 オカバ水戸三の丸ビル2F

TEL：029-226-8561 FAX：029-226-8493

(※ TEL・FAX 番号の変更はなし)

理事会だより



第11回常任理事会

- 日時 12月15日(月) 17:00～17:50
場所 水戸 山口楼本店
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・池田・田口・橋本・矢口各常任理事
砂押専務理事
議題 (1) 第21回世界ビルメンテナンス大会への対応について
(2) 次回常任理事会の日程等について
(3) その他

第12回常任理事会

- 日時 1月15日(金) 13:30～14:45
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・池田・田口・橋本・矢口各常任理事
砂押専務理事
議題 (1) 第21回世界ビルメンテナンス大会への対応について

の対応について

- (2) 賀詞交歓会の運営等について
(3) 今後の主要行事の日程等について
(4) その他

第13回常任理事会

- 日時 2月10日(水) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、鷹巣・池田・田口・橋本・矢口各常任理事
砂押専務理事
議題 (1) 平成28年度主要事業・行事の開催予定等について
(2) 慶弔規程の改正(案)について
(3) 平成27年度高齢者活躍人材育成事業(清掃業務技能講習)について
(4) 大規模災害時の応急対応に関する協定について(情報の提供)
(5) その他

各委員会だより



建物衛生委員会

- ◇ 新年度事業計画策定会議
日時 1月15日(金) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 矢口委員長、大曾根・藤原副委員長、塩谷・篠崎・金親各委員、砂押専務理事
議題 (1) 清掃作業従事者研修指導者講習会の運営について
(2) シニアワークプログラム事業の運営について
(3) 高齢者活躍人材育成事業(清掃業務技能講習)の運営について
(4) その他
- ◇ 第6回委員会
日時 2月19日(金) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 大曾根・藤原副委員長、塩谷・篠崎・中川・藪田各委員、砂押専務理事
議題 (1) 高齢者活躍人材育成事業(清掃業務技能講習)について
(2) その他

広報委員会

- ◇ 第6回委員会
日時 2月2日(火) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 宮内副会長、田口委員長、湯原・古市副委員長、館・助川・佐藤・石田各委員、砂押専務理事
議題 (1) 茨協ニュース(第94号)の発行について
(2) その他
- ◇ 編集会議
日時 2月16日(火) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 田口委員長、湯原・古市副委員長、館・助川・佐藤・石田各委員
議題 (1) 茨協ニュース(第94号)の編集作業について
(2) その他

会 員 紹 介

Ibaraki Building Maintenance Association

日本設備管理株式会社 取手支店

弊社は、昭和46年千葉県柏市に創業以来、官公庁施設・病院・学校施設・民間施設など、あらゆる建物の総合管理を行っております。昭和53年には、業務拡大に伴い取手支店を開設しました。

これからもお客様の声を大切にし、「人と建物にやさしい」より快適な住環境創りを目指してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



【業務内容】 設備管理業務

- ◆ 運転保守業務
- ◆ 建物・設備保全業務
- ◆ 施工・修理業務
- ◆ 点検整備業務

保安警備業務

- ◆ 環境衛生管理業務
- ◆ 清掃管理業務
- ◆ 衛生管理業務

その他管理業務

- ◆ ビルマネジメント業務
- ◆ 管理サービス業務

日本不動産管理 株式会社

日本不動産管理株式会社（N F K）は創立以来50年間に亘り、「設備・清掃・警備」のビルメンテナンス業を通じて建物価値の維持・管理に尽くして参りました。

人間も建物も超高齢化社会を迎える中で、古い物の価値を守る重要性が増しています。

当社は活動領域を訪問看護、文化財保護工事等に広げ、人間・建物の総合価値保全会社を目指します。

古い物を壊すのではなく、その価値を保全・再生させ、現役として活用することが社会の活力維持に必須と信じています。

これからも社会とお客様に貢献出来るよう努力してまいりますので、皆様の一層のご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



日本メックス 株式会社

会社概要

会社事務所はつくば市街から北西側に位置し、果樹園に囲まれた長閑な風景が広がります。昭和51年より主につくば産総研内建物の設備管理業務及び改修工事を受注し現在に至っています。

日本メックスの社名の由来

- Maintenance 建物維持管理
- Engineering 工業技術
- Consultation 設計・調査・診断・提案
- Construction 改修工事
- Service サービス

お客様企業価値の継続的な向上に向けて、確かな実績をもとに様々なソリューションを日本メックスが提供いたします。



浜野産業株式会社

HAMANO

昭和44年、鹿島臨海工業団地造成計画の進展に伴い、地元住民は、所有地の4割の提供をし、当該事業の達成に、協力されました。

以後、地元住民は、農業一途の生活を営むことは困難な状態となり、地元有志との建設的協議の結果、各企業様と共に発展すべく、以後の方針を定め、昭和44年4月 弊社を設立いたしました。

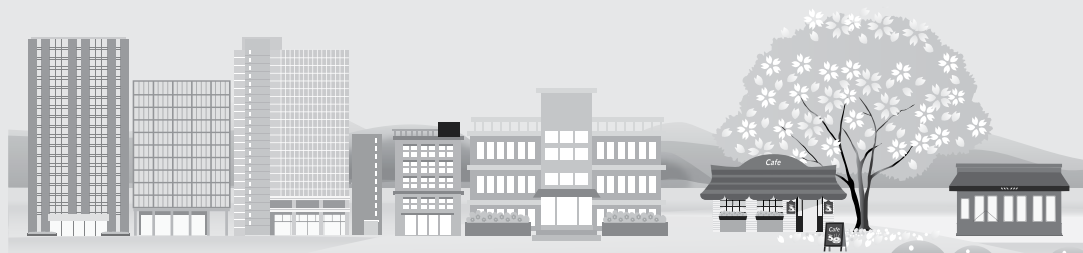
其の後、役員、従業員一同 一致協力し、忠実な業務に服し、日進月歩の中、企業各社様のご愛顧を賜り今日に至っております。

弊社は構内清掃業務等を中心とし、各種サービス事業を充実させ、当地区の発展に尚一層努力邁進して参りたいと存じます。

今後とも一層の御指導と御愛顧をお願い申し上げます。



次号の会員紹介は、(株)ビケンテクノ、常陸興業(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立ビルシステムエンジニアリング、富士メンテニール(株)の5社にお願いする予定です。ご協力よろしく申し上げます。



小学生清掃活動トレーニング事業に参加して

(株)エム・ビー・シー

建物衛生委員会副委員長 藤原 明

平成25年度に「小学生が適切な清掃の技能と、衛生的な環境の大切さを理解する一助として、清掃の実地指導を行う。」との趣旨で、小学生清掃活動トレーニング事業を行い、27年度で3年目の事業が終了いたしました。

この事業も茨城県ビルメンテナンス協会の毎年の恒例事業として定着してきたのではないかと思います。初年度は手探り状態で現場指導を行いました。回を重ねるにつれて各指導講師の皆さんも小学校の現場指導に慣れてきた様子で、手際よく分担して各小学校の指導現場で指導していただき、大変心強く感じております。

今まで3年間各小学校を指導してきて感じたことは沢山あります。街中の学校と田舎の学校では各学校により違いがあり、各担当先生によっても対応の仕方が違ってきます。各小学校の清掃道具や清掃作業方法も違ってきます。

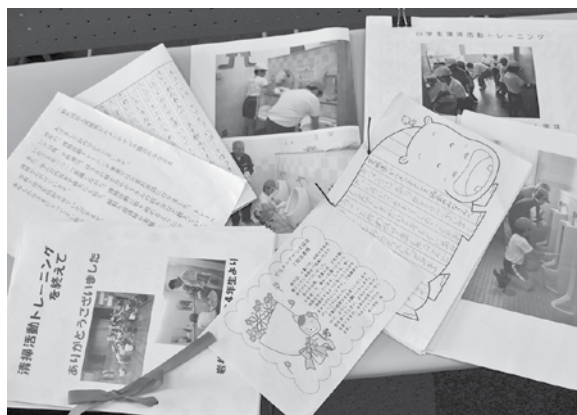
45分で各小学校に合った清掃指導を行うのは難しいことで、小学校側の指導要望になるべく沿うよう、事前打ち合わせで先方の要望している清掃指導内容をよく理解することが大切です。しかし、机上での事前打ち合わせや指導計画が出来上がっても、指導相手は小学生です。短い限られた時間で予定どおりに指導終了するの

は大変なことで、現場に合わせて臨機応変に指導して下さる、ベテランの指導担当者の皆さんがいるから、今まで特にトラブルもなく無事終了できたと思います。

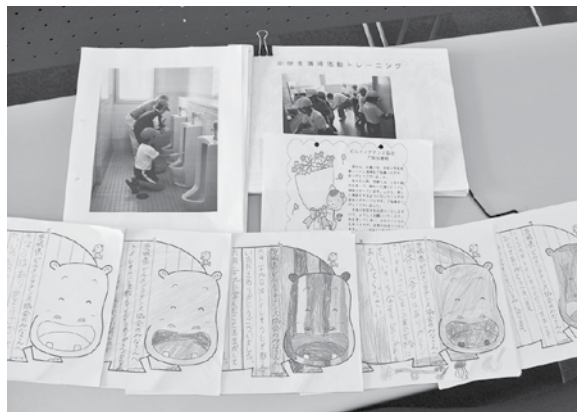
指導を受けた子供たちが清掃の大切さを学び、やがて大人になり子供のとき清掃指導を受けたことを思い出し、住居の衛生を守るだけでなく、勤務先でビルメンテナンス業務の重要性を人一倍理解していただければ、この事業も大成功です。

清掃の大切さをよく理解した子供を育てることは、ビルメン業界の社会的な地位の向上と、将来の事業拡張につながることに言っても過言ではありません。

今後も各会社様ならびに清掃指導担当者様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

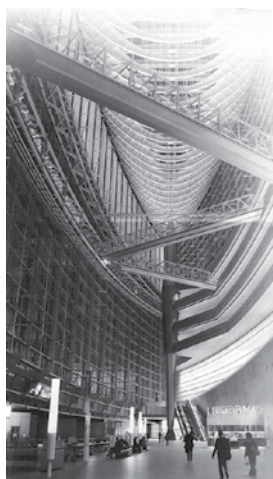


毎年たくさんのお礼をいただいています



◆ 第21回世界ビルメンテナンス大会のご案内 ◆

来る4月4日～6日に日本で24年ぶり3回目となる「第21回世界ビルメンテナンス大会」が“文化を紡ぐ豊かな暮らしを演出するビルメンテナンス業”をテーマに、東京国際フォーラム（東京：有楽町）を舞台に開催されます。



開催概要

会 期 2016年4月4日(月)～6日(水)

会 場 東京国際フォーラムホールB7
東京都千代田区丸の内3-5-1
ホテル椿山荘
東京都文京区関口2-10-8

主 催 世界ビルサービス連盟
World Federation of Building Service Contractors
公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
Japan Building Maintenance Association

URL <http://wfbsc2016.tokyo/>

併せまして、今大会では、(公社)全国ビルメンテナンス協会と(公社)東京ビルメンテナンス協会が共催で「ビルメンテナンスフェアTOKYO 2016」と題して、トレードショー(資機材展示会)を開催します。

展示会には、約70社140小間の出展が予定されており、展示会場では、「ビルクリーニング複数等級化模範演技」やお掃除ユニット「Clears」のイベントなど、入場無料でご覧いただくことが可能です。

ぜひ、この機会に会員各位の多数のご来場をいただきますよう、ご案内いたします。

ビルメンテナンスフェア TOKYO 2016
第21回 世界ビルメンテナンス大会
トレードショー

WFBSC TOKYO 2016

会 期 2016年4月4日(月)～5日(火)
会 場 東京国際フォーラム展示ホール
東京都千代田区丸の内3-5-1
主 催 公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会
公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
URL <http://www.j-bma.or.jp/fairtokyo2016/>

参加無料
同時開催の「第21回世界ビルメンテナンス大会」の参加には登録が必要となります

事前申込のご案内

● セミナーの詳細および事前申込をご希望の方は、下記URLまでアクセスしてください。

ビルメンテナンスフェア
TOKYO 2016 特設ページ

<http://www.j-bma.or.jp/fairtokyo2016/>

■ 編 ■ 集 ■ 後 ■ 記 ■

第94号(新年号)も、会員の皆様のご協力をいただきまして、無事に発行することができました。

さて、昨年9月に発生した、鬼怒川の堤防が決壊したことによる大洪水ですが、この影響を受けた会員もいらっしゃると思います。

弊社では、6名の社員が被害を受け、そのうち4名は床上浸水となる大きな被害で、救出される所をテレビで放映された社員もいました。多数の社員が同時に緊急で休みとなってしまったため、代番の調整などに大変苦慮しました。

この教訓から、緊急時の連絡方法の改善などを行いました。会員の皆様におかれましても、このような事態の対処について検討しておくのも良いと思います。

ところで、茨城県ビルメンテナンス協会主催の新春賀詞交歓会は、毎年、盛大に行われております。

今年1月に開催された様子は、表紙を含めてたくさんの写真と共に掲載いたしました。

大山会長からの昨年度の総括や今年の方針、茨城県副知事の山口様からの県の動向や展望、茨城労働局労働基準部長

の松田様からの事故事例や対策、たくさんのご来賓の方々との会合、会員及び賛助会員の方々との情報交換など、有意義な時間だと思っておりますので、出席することができなかった会員におかれましては、来年はぜひ参加されることをお勧めいたします。

今年も、茨協ニュースの編集者一同頑張りますので、よろしく願いいたします。

日興美装工業(株)
助川 和徳



今号の編集者

- ◎委員長 田口 順章(株ともゑ)
- ◎編集委員 湯原 隆幸(タカラビルメン(株))
古市 茂樹(茨城ビル代行(株))
館 由紀夫(新生ビルテクノ(株))
佐藤 秀夫(JR水戸鉄道サービス(株))
助川 和徳(日興美装工業(株))
石田 篤史(株サンアメニティ)

発行所

茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
☎029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail: ibmal@ceres.ocn.ne.jp
http://www.ibaraki-bma.or.jp/

責任者 会長 大山 進

編集責任者 広報委員長 田口 順章

発行回数 年3回

印刷所 (有)クリエイティブサンエイ